

会 議 録

会 議 の 名 称	平成28年度 第1回所沢市上下水道事業運営審議会
開 催 日 時	平成28年 11月 2日(水) 午前10時00分から午前11時30分まで
開 催 場 所	所沢市上下水道部庁舎3階 大会議室
出 席 者 の 氏 名	朝比奈 嗣和、阿部 武志、石井 福雄、鹿山 淳一郎、 斎藤 賢吾、下田 正樹、高橋 由紀子、瀧澤 幸子、田中 宏明、 林 真由美、藤巻 和仁、毛利 吉成、山路 洋子 (50音順)
欠 席 者 の 氏 名	杉尾 勝之、長井 勇樹 (50音順)
説 明 者 の 職 ・ 氏 名	
議 題	(1) 所沢市下水道事業経営計画の策定及び下水道使用料 のあり方(公開) (2) その他(公開)
会 議 資 料	・ 会議次第 ・ 平成28年度所沢市上下水道事業運営審議会委員名簿 ・ 第1回所沢市上下水道事業運営審議会 会場図 ・ 資料1 第1回所沢市上下水道事業運営審議会資料 ・ 資料2 平成27年度下水道事業の決算見込みをお知らせします ・ 資料3 公営企業の経営に当たっての留意事項についての概要 ・ 資料4 平成28年度所沢の水道と下水道 ・ 資料5 平成27年度所沢市水道事業会計下水道事業会計決算書 ・ 所沢市上下水道事業運営審議会条例 ・ 所沢市下水道事業経営計画の策定及び下水道使用料のあり方につ いて(諮問写)
担 当 部 課 名	上下水道部 部長 玉川 明男 上下水道部 参事 鈴木 久夫 総務課 課長 高橋 国弘 主幹 新井 猛 財務課 課長 当麻 靖男 下水道維持課 課長 守谷 秀明 主幹 三上 淳 主幹 吉田 進一 財務課 主査 田島 幸雄 (事務局) 主査 福田 康宏 主任 田村 彰子 主任 石岡 大樹 上下水道部財務課 電話04(2921)1087

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
開 会	
当麻財務課長	<p>1. 開会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上下水道事業管理者あいさつ ・上下水道事業管理者による委嘱状交付 ・委員の自己紹介 ・資料の確認 ・会議の成立の報告 ・会長・副会長の選出 会長下田 正樹委員、副会長 藤巻 和仁委員 ・諮問書の受け渡し <p>2. 下田会長の議長により進行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議の公開の確認 ・会議録作成方法の確認 発言委員名を明記する要約方式、会議録は会長による確認 ・傍聴希望者の確認
議 事	
下田会長	<p>議事（1）所沢市の下水道事業の概要と経営計画について、資料1に基づき事務局より説明いただきたい。</p>
当麻財務課長	<p>（資料1及び資料4に基づき説明）</p>
下田会長	<p>ただ今の説明で、ご意見やご質問はありますか。</p>
瀧澤委員	<p>所沢市では汚水処理自体は県の施設を使用しているとのことだが、施設規模の適正化や予防保全型維持管理というのは、管渠の部分だけを考えるのか。</p> <p>また、料金のあり方を考える場合には、管渠の工事や維持だけではなく、汚水処理にかかる県への負担金も含めて考えなくてはいけないのか。</p>
当麻財務課長	<p>所沢市は単独の下水処理場を有さず、所有する施設のほとんどは管渠であるため、対象は管渠になります。施設規模の適正化に関しては、技術の進歩などを踏まえて考えるべきと思われます。</p> <p>下水道使用料については、資料2の円グラフにあるとおり、汚水1㎡を処理するのに101円ほどかかっています。このうち流域下水道維持管理負担金は経費全体の3割を占めていることから、負担金の単価等が変更になれば、下水道使用料にも大きく影響します。</p>

	<p>そういった要素も含めて、策定作業を行うべきと考えます。</p>
下田会長	<p>他になければ、続いて「資料2」に基づき事務局より説明いただきたい。</p>
当麻財務課長	<p>(資料2に基づき説明)</p>
下田会長	<p>ただ今の説明で、ご意見やご質問はありますか。</p>
藤巻委員	<p>3条予算の汚水と雨水を合計した維持管理費の内訳資料かと思うが、今後、汚水と雨水とを分けた収益と費用は出されるのか。</p> <p>また、用語や内容の説明をしていただきたい。例えば、3条予算の他会計負担金、営業外収益、費用の方のその他、4条予算の補てん財源はどういったものか、内訳にはどういったものがあるのか。</p>
当麻財務課長	<p>汚水、雨水を区分した損益状況は整理していることから、資料提出は可能です。</p> <p>次に、用語の説明と主な内容について、口頭にて説明します。</p> <p>3条予算の営業収益について、「下水道使用料」は、下水道利用者から頂く汚水処理の対価としての料金です。「他会計負担金」は、雨水処理に係る負担金で、対象となる経費は、維持管理費、企業債の利息、減価償却費で、あわせて約11億円となり、一般会計より繰り入れられたものです。「受託事業収益」は、隣接している自治体が、地形の関係などから自らの市で処理するのが困難な場所の汚水を、当市において処理し、その対価として負担金を受入れたものです。</p> <p>営業外収益は、一般会計より繰り入れた「他会計補助金」、減価償却にあわせて補助金等相当額を収益に計上する「長期前受金戻入」、雨水処理以外で一般会計が負担すべき経費を対象とした「他会計負担金」です。</p> <p>特別利益は、引当金を減額する際に取り崩して帳簿上収益に計上したものが主です。</p> <p>3条予算の費用の主なものは、「減価償却費」約28億8千万円、「流域下水道維持管理負担金」約10億円等で、その他には人件費、修繕費、その他事務費等が計上されています。</p> <p>4条予算の支出は、ほとんどが建設工事費とその関連経費、及び過去に借り入れた企業債の償還金となります。</p> <p>4条予算の収入は、「企業債」、「固定資産売却代金」のほか、「負担金」は、下水道整備区域になった方から頂く受益者負担金、下水道整備区域外から下水道に接続した際に徴収する分担金、清掃</p>

	<p>施設の周辺整備に関する一般会計から繰り入れた工事負担金です。また、「補助金」は、全て国庫補助金、「長期貸付金償還金」は、水洗便所改造資金貸付制度による貸付金の返済分が計上されたものです。</p> <p>補てん財源は、「減価償却費」が現金支出を伴わないことから企業内部に留保されたもので、新しい建設投資や老朽施設更新のための資金に充てることから補てん財源と呼ぶものです。</p>
藤巻委員	<p>概ね解りました。次回には、今の説明を解り易い資料としてまとめていただきたい。</p>
当麻財務課長	<p>解りました。汚水と雨水の区分についても解り易くまとめたものを用意したいと思います。</p>
毛利委員	<p>資料1(3頁)に記載された経営戦略の策定の趣旨に示されている、施設規模の適正化とは具体的にはどういったものか。</p>
当麻財務課長	<p>具体的に施設規模の適正化というと、所沢市では汚水の処理を全て荒川右岸流域下水道で行っていることから、難しい面はありません。処理場を有していないため、施設規模の適正化に関しては、大きな効果を出すのは難しいものと考えます。</p>
毛利委員	<p>施設規模の適正化という言葉から、処理場などの適正化、更新を想像したのですが、管整備だけを指しているのか。</p>
当麻財務課長	<p>所沢市の現状としてはご指摘のとおりです。</p> <p>施設規模の適正化とは、例えば水道事業では、近隣の市と給水区域を統合することで、一つの小さな市域で行うよりもスケールメリットが働いてコストダウンや合理化を図ることができます。そういったことも踏まえ、公営企業の一般論として記載したものです。</p>
毛利委員	<p>今回の諮問については、「施設規模の適正化、予防保全型維持管理による施設の長寿命化、料金のあり方の検討」の3点を活かして答申していくということか。</p>
当麻財務課長	<p>所沢市の下水道事業として、特にこの3点を合理化のメインとしてピックアップしたということではありません。公営企業全般を取り巻く課題の中の一般論として述べました。施設規模の適正化を答申につなげたいという意図ではありません。</p>

田中委員	今回の趣旨は、収支バランスの確保という点もあると思うが、利用者から徴収する料金については、今後の所沢市の人口がどのように推移していくかが関わってくると思うが、推移予測は出ているのか。
当麻財務課長	人口動態については、市として予測しておりますので、これから拡張する下水道の普及状況などを踏まえた収支シミュレーションの中で説明していくことになると思います。
山路委員	資料1(2頁)の下水道長寿命化事業について、所沢地区の下水道管は合流式である。今後は分流式となるのか。
守谷下水道維持課長	合流式のまま長寿命化を図る予定でいます。
下田会長	施設の改修や合流管の分流化というのは、膨大なコストがかかる問題であり、結局使用料金に跳ね返ってくる。そのコストをどこで賄うかということもこの経営計画の中での考え方の一つと思われる。事務局も委員の意見を聞いて、今後の経営計画の策定について考えてもらいたい。
下田会長	他にご意見やご質問はありますか。 ～特になし～
下田会長	議事(2)その他について、事務局より連絡事項はありますか。
当麻財務課長	第2回目の会議日程ですが、次回の審議会は、平成29年1月中旬から下旬に開催したいと考えています。 また、次回の審議内容は、所沢市下水道事業経営計画の策定及び下水道使用料のあり方について、より実質的な審議をいただきたいと考えています。
下田会長	次回、第2回目は平成29年1月中旬から下旬とします。事務局は、早めに日程を通知していただきたい。 以上で、本日の議事は全て終了します。
当麻財務課長	第1回 所沢市上下水道事業運営審議会を閉会とします。